

スロレタリブ通信

No.22

一九二七年十月六日
共産主義者同盟書記局

へ目次へ

- 一、10、8斗争の巨大な国際的国内的意義
- 二、10、8斗争の戦力と日本帝国主义権力に
佐藤内閣の政治的権威の失墜
- 三、スルジョアジの凶死の巻き返し死因に
関する一大フレイムアップを論議せよ
- 四、10、21斗争を巨大な抗議斗争へ
バトナム反戦を反帝反政府斗争へ

帝国主义の侵略に抗し斗いぬいているバトナム人民に日本前哨者人民が連帯する一つの道があった。(以上「戦旗」十月五日号) 全都全口の同志諸君、反戦、全連連の下に結集した我々が、秋の同志山崎君の産後、百名を越す重傷者らに全員に加えられた敵階級の根柢の嵐、58名の逮捕者(うち社学同48名)という弾圧をはねのけ最初から最後まで断固として斗いぬいたのは、まさに10、8斗争の巨大な国際国内的任務を遂行するといふ鮮明な目的意識性に實を注いでいたからであり、また10、8斗争に於て我々はこの二頁の「任務」を執拗と突進しバトナム人民に対する革命的連帯を以てしたのである。

「バトナム反戦」を筆に言葉や、お題目としてではなく日本前哨者人民の行動に於いてのみわれわれ、社会は行動はあらか言葉でえなかつた。

社会党は佐藤内閣の前後の談話の「戦力のポータを我れにこし、白共はいた。まは羽田から程遠い多摩湖畔の「赤根まつり」に前哨者を囲い込み、それを「佐藤バトナム」に対する大示威であるなどと居直した。このように社会共の戦線進出と裏切りの中で地区反戦と全連連に結集した我々の戦力的前哨者学生が10、8斗争における日本人の巨大な口内内任務を全身で受けとめ、その任務の遂行をおして10、8斗争を10、8斗争たらしめ、10、8斗争を以てした。

一、10、8斗争の巨大な国際的国内的意義
佐トの訪バトナム阻止ノ日本前哨者人民の侵略加担を許すなバトナム反戦を反帝反政府斗争へ」の「スロレタリ」の下、日本前哨者階級人民の先頭に起った我々全連連、反戦の戦力的前哨者学生は10月8日羽田を飛び立ちとうとする加担の張本人バトナムに對し烈火の抗議を突きつけ、吹きつけた。従来日本とアメリカ、バトナムとの関係に巨大な転換を画す佐トの訪バトナムの階級的目的は、まさにバトナム人民大衆の英雄的な解放斗争に向から敵対し、血と汗と奮闘の一握りの「民政」に公然と連帯してコ入収することであった。それゆえに、10、8斗争に於ける日本前哨者人民の口内内任務は、

バトナム、日本の前哨者階級人民の抗議の意志を突然たる行動によって「公然と表明し」
バトナム、その行動によって、佐藤の政治的権威にドロを塗り、失墜させ

そしてバトナムは、このように10、8斗争を文字通りの反帝反政府斗争として斗いぬくことによつて10、21の口内内任務を果たすことになつた。そしてこれら三頁の国際国内的任務の遂行こそアメリカ

のである。こゝにこそ10、8斗争の巨大な意義
革命的意義があった。

二、10、8斗争の戦力と日本帝国主义権力に佐藤内閣の政治的権威の失墜

10、8の早朝から「佐藤訪バトナム阻止」のために「高速道路一号线」に「バトナム橋」を「井天橋」と斗い抜いた全連連、地区反戦は、その強力な目的意識性によつて数千名の官憲の弾圧を、あらゆる地帯ではねのけお返しした。二の「バトナム」をつく「英雄主義」を切り開いたのは8日早朝八時、佐藤内閣の「バトナム」を中心とした一三〇〇名の全連連による「高速道路一号线」(バトナム橋)での斗いである。官憲の弾圧に對する前哨者自身を回めた社学同を中心とする一三〇〇名が佐藤の通過する高速道路に對して突然たる行動に起ち官憲の壁を突破した。この斗いによつて10、8斗争は、まさに切り開かれ、10、8斗争は、10、8斗争となりうる契機が切り開かれたのである。

佐藤の訪バトナムを阻止するためには、佐藤の通過する高速道路に對して全カ行行動を集中する。このことをおいて10、8斗争はない。(全連連書記局会議を流会させるという中核派のセプト主義によつて中核派はこの行動から脱落した。)

「保保未(特に日朝斗争において)官憲の強力な弾圧の前に却つて来てきた我々の示威が自らの力で事態を切り開いたこと、しかも佐藤の通過する高速道路において官憲の弾圧を突き破つたといふ事実が10、8斗争の偉業を遂げたのである。

八時半からの被中公園の全国反戦の集会へ一〇〇〇名
マコに中核派学生五〇〇名(等しい)の街頭に成島副委員
長が、高速道路の斗いの軍装を報告する也、被中公園は
湧き立った。反政府の者だけ等々、それにいた中核派
学生も巨大な自信と自衛を鼓舞せぬ、10、8斗争主体の
任務の遂行にまで全体が引きあはせられたのである。

反戦の勝者一〇〇〇が敵のあらゆる強圧にも屈せず、
強かなヌクラムの下に押し扱われたこと(丸印)にこれ
は10、8斗争から七年10、8斗争を区別する
最大の革命的特徴である。しかもこの丸印には、高速
道路で斗った社会学を中心とする一〇〇〇名の部隊が断
固として先頭に立ち敵の防衛隊を打ち破りて斗いぬいた
。更に箱橋の革マル全学連(二〇〇)、并天橋の中核
派(一〇〇)の斗いによって、バトナム侵略反対、日
帝の侵略加担を許すな、という烈火の意志が、敵権力
の弾圧体制をシンカンさせたのだ。

佐藤の訪ベトに抗議する五〇〇〇の戦斗的労働者学生
の意志と斗争が、官憲と機動隊の弾圧体制を脅かし、動搖
させ、それを押し返したこと、そしてが又弾の雨にも拘
らぶ斗い抜いたこと——まさしくこのことによって才一
に佐藤は一切の儀式を抜きにして飛行機に車を乗せられし
たまま、そそくさと羽田を飛び立たざるをえなかったの
である。才二に佐藤自身のみならず日本帝国主義権力自
身の政治的権威にドロが塗られたのであり(例えは
サイゴンに英字有力紙等は「佐藤、血の出発」として三
段、ぬきに報じ、日本の役割についての悲観的役割
の見方をつよめ、最初の佐藤の訪南国であるインドネ

今や政府指導機関と全の商業紙は羽田斗争とバトナム
闘いの切筋、樺美智子のら、5などの稍違、労働者学生大
衆と羽田闘力斗争の切筋に全力を寄せている。その筆尖
は京大の同志山崎君の死が留置の手による撲殺ではな
く、学生の手によるレキ死であるというデマ宣伝に集中さ
れている。このスルジヨワキヤンバインに「赤旗」は暗
黙の了解を乞うて居る。

だが8日の検証の時に検察庁が、
立ち会い
を一切拒否したのは何故か。(社会党代議士をも)
死体はここが込まれた京大カマ日病院に、口の一人も近
寄せぬ事情を見に行つた学生を侮辱を以て恫喝したのは
何故か。彼等は虐殺の事実のひき起す事態——反政府
斗争の発展——を恐れてネツ千あげとネマ、一大フレ
ムアツプに大規模にふみ切っているのだ。彼らは虐殺
の事態をカモフラージュするだけではなく、その責任を
我々になすりつけるというフレムアツプによって10月
8日の政治的権威の失墜をとりくつる、バトナム反戦
斗争の反帝反政府斗争人の発展を抑制し、又労働者学生
大衆と地区反戦、全学連の先進的斗争との向を切断しよ
うとしているのだ。

そうである以上10、8斗争の政治的意義の全面的確認と
宣伝、バトナム反戦斗争を反帝反政府斗争へと発展させ
るバトナム向闘と日帝の介入に対する宣伝、煽動こそ、
我々の基本任務であり、それこそが「政治向闘の刑事向
闘へのすりかえを粉砕し、スルジヨワキヤンバインの巻き返しに
反響し粉砕する道である。

10、8斗争の刑事向闘は、政治向闘の発展を阻害するものではない。

シアにおいても日本の反政府斗争の 大存在に
よって「大存在」を授け、又米軍では
佐藤首相の南バトナム訪問反対で死者まで出す
大示威とくり返し報じ「広範なバトナム又
戦ムド」だけなく激しい奥力行史に発展し
た事実が驚くしている。

才三にはこうした羽田闘力斗争の断固たる貫徹
によって全世界のバトナム反戦斗争を反帝反政
府斗争へと転化させる巨大な突破口を切り開い
たのであり(米口の燃料油が反戦運動への口際
的波及「10月9日毎日夕刊」、北京の評価)、10、21
反戦斗争を全世界において反帝反政府斗争へと
確固させる国際的突破口を切り開いたのである。

三、スルジヨワキヤンバインの必死の巻き返し死因に
関する一大フレムアツプを粉砕せよ。
スルジヨワキヤンバインの10、8斗争に対する対応
「10月8日7時までの4ハクに對する報復等
利、10月9日の全商業新聞を通じて、暴徒
宣伝と、バトナム問題との切筋を組つた、あ
らゆるキヤンバイン」そして「死因に對する一
大フレムアツプ」これはまさしく10、8斗争
の巨大な意義に對するスルジヨワキヤンバインの巻き返
しである。(1)バトナム反戦斗争が日本人民大
衆の反帝反政府斗争に転化する可能性に對する
必死の分析攻撃、(2)日帝の政治的権の失墜を
とりつくりうとする巻き返し)

四、10、21斗争を巨大な抗議斗争へ

バトナム反戦を反帝反政府斗争へ——
今まで確認してきたとおり才一は才一に10、8
斗争を反帝反政府斗争として書きかたすことによ
って、日本のバトナム斗争を反帝反政府斗争へと
転化させる突破口を創り出し、
才二に、佐藤の訪ベトの政治的権威に打撃をよ
せることによつて全世界の反戦斗争を反帝反政
府斗争へと確固させる先進的任務を果した。
従つて10、21斗争は、このような血の弾圧の下
にサイゴンに入り、アメリカ帝国主義と共に、
「民政」にテコ入れを計ろうとする佐藤に對する
一大抗議斗争——反帝反政府斗争として、徹底的
的且つ全面的に組織し、叫びをあげなければならない。

10、8斗争で切り開いた突破口を押し広げると
いうこと——それは10、8斗争を斗いとつた部
分が先頭に起つて労働者人民大衆自身の斗争へと
バトナム斗争を発展させることであり、大衆
的な反帝反政府斗争へと発展させることであら
なければならない。
このように、日本労働者人民大衆の巨大な反政
府斗争として10、21を叫びとるためには
①大衆自身の広範なバトナム反戦意識を、巨
り起し、これを及びますこと。
②それに依拠し、バトナム↓アメリカ↓日本

内

の全体的態度を明らかにすることによって鮮明な
反府反政府意識へと高めること

⑨ それによって「虐殺問題」での元マ宣伝に、
反響しこれを粉砕することを我々の緊急の任務
とさせている。

10. 8月争の巨大な意義を物算化するために、
地細胞での意志統一——その下への活動家の
結集、

大衆宣伝と煽動——これが、今日ほど要求され
ている時はない。

まずオ一番に、党S会設を直ちに開催し、10
・8月争の巨大な国際的国内的意義を一臆の
もりも存く確認せよ、

その右と10・21の任務を認識し、巨大な大衆
的斗争として準備する体制を作り出すべきではな
いか。 10・12斗争については回線1000、全テ
ネの、全通(200)の組合動員が決定された、

我々はバトナム反戦斗争を労働組合の中にお
いて大奨励を提起し、バトナム反戦斗争を大衆
斗争として斗いとするオ一步として10・12斗争を
斗いとする必要がある。

全力を結集し、10・12斗争へ、

大衆の中に大胆に入り、バトナム斗争の大衆斗
争としての組織と、反府反政府斗争への発展に
全力を注ぐ。

スケジュール

○十月十三日(木)六時、日比谷
バトナム侵略反対、虐殺祈議集會
主催 全国反戦青年委員会

○十月二十一日(土)二時、明治公園
国際反戦統一行動

○尚、山崎君造とう集會については
追って知らせる。